昭和51年3月5日
広報あじす　毎月5日　発行
お知らせ版　毎月20日

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話4111番㊥・〒754—12

印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No. 292

町の住民登録人口
（51年2月29日現在）前月比
世帯　2,110世帯　＋3
人口　8.235人　＋26
（男3.896人　女4.339人）
（国勢調査　昭和50年10月1日）
世帯　2.113世帯
人口　8.137人
男3.771人　女4.366人

五人に一人はカギッ子
何をしたいかには「旅行」「遊び」

本町の少年少女はどのような生活をし、どのような考え方をしているか…町教育委員会はさきに阿知須中学生徒会員と阿知須・井関両小学校の五、六年生全員を対象にアンケート調査をしました。

この調査は、小中学生の生活状態などを知ることで、今後の生活や教育指導に役立てようとするのがねらいです。

調査対象は小学生二六人（男一三一、女九五）中学生三一〇人（男一五一、女一六八）の合計五四六人。このうち阿知須校区が三一八人、ばん多く、全体の三一・八％、ついで四人が二六・八％。二人というのはおらず、十一人が最高。

いつも家にいる人は　学校から帰ったときに誰が家にいるかという問いには、母が三四％で全体の約三分の一、祖母二五・五％で約四分の一。誰もいないのが二一・八％で五人に一人強はカギッ子の割合い。

遊び相手　同級生が四一・二％、兄姉弟妹二五・〇％、上下級生は双方二一・七％。

通学の手段　小学生は全員が徒歩、中学校は自転車が一〇・三％。

塾へ行っている　小学生は五八％中学生七七・二％が何らかの塾へ通うか習いごとをしている。小学生は①習字三一・六②ピアノ③珠算の順。中学生は進学用の学習塾が七〇％。

何がしたいか　どんなことを一ばんしたいかという問いには全体的には国内旅行、世界旅行、遊びたいなどが上位。小中学生とも圧倒的に頑張だが校区別にみると女子の場合、友だちとのおしゃべりというのが二位（同中）四位（井小）を占めた。

困っていること　小中学生とも勉強の仕方がわからない、成績が悪いことなどというのが多い。

楽しいこと　遊び、テレビがトップ。中学生になるとおしゃべり、クラブ活動、遊びごとなどをあげているものが多い。

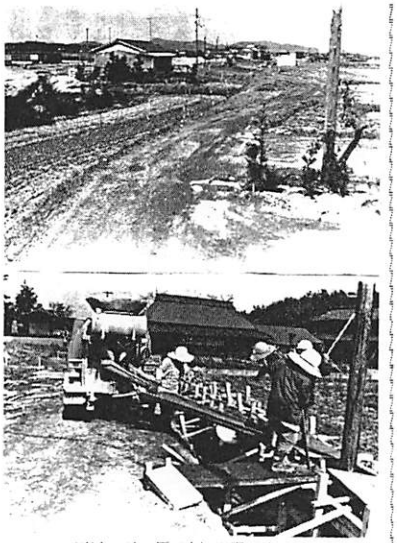
町への希望　阿知須校区は広場、公園・遊園地をつくってほしいが三〇％強でトップ。井関校区は役場の改築、道路整備の順。総体的にはスポツ施設の整備を望むものがめだっている。

（とじておくと便利です）

引野と沖ノ原道路の二つ
農村モデル事業の最初の工事業進む

町の農村総合整備計画（モデル事業）の最初の事業として、五十年度に道路・路線を整備することになっていますが、その工事がいま盛んに進められています。

一つは引野道路、明栄寺のすぐ前の道路の改良（幅員六メートル延長六六〇メートル＝工事費千四百万円）。もう一つは中学校後方の沖ノ原農道。これも改良するもので、幅員六・五メートル、延長三七七メートル　工事費は約一千万円。



工事中の沖ノ原（上）引野道路（下）

沖ノ原線は二か年にまたがる継続事業です。

このモデル事業は当初、四年計画で終る予定でしたが、国の事情で現在のところ七年に延び、事業費は十億円を越える見込みです。

春の防犯運動

春の防犯運動が三月いっぱい県下でくりひろげられています。

春は行楽シーズンをねらって空き巣など盗犯が多いのをはじめ、行楽地の暴力、花見酒による酒酔い運転、青少年の家出など多く起こることが予想されます。

このため、県警では活動の重点として①防犯②交通死亡事故防止③暴力犯防止④盗犯の予防と検挙⑤家出少年発見保護に努めることを挙げています。

なお、暴力追放県民会議がこのほど発足、県下の各団体組織をあげて暴力追放に取組むことをめざしています。小さな暴力でも見逃すことなく、未然防止に努めると共に、万一起きた場合はすぐ警察へつけてあります。郵便局から郵便局に届け出るようにしましょう。

青い羽根は千六百本
緑化運動で本町に割当て

『どりもそろう　緑の風と青い空』の標語のもとに、ことしも三月は緑化運動が続けられています。

県緑化推進委員会が中心となって進めているもので、県下で四百万円を募金目標にし、それで花のタネを買ったり、植樹用の木を買ったりします。

本町には八ッチ（百円）三十個と青い羽根（十円以上）千六百本が割当てられ、婦人会を通してさばくことにしています。

事故証明は安全運転センターで
警察は取扱いやめる

自動車安全運転センター山口県事務所（山口市宮島町六の一・運転免許試験場内）が一月から開設されました。

交通事故証明書、その他自動車運転に関する証明や通知をこの事務所でまとめて行うことになったものです。したがってこれまで警察署で発行してきた交通事故証明は、今後警察では一切取扱わないことになりました。

安全運転センターが取扱う業務は次のとおりです。

❶交通事故証明書の発行＝手数料四百円、申請書は警察署、派出所、損害保険会社、農協などに備えつけてあります。郵便局から郵便局で申込むこともでき、その場合郵送されます。県外で起こした事故についてはその所轄のセンターに申込むことができます。

❷運転経歴証明書の発行＝▽無事故・無違反（四十四年十月一日以後のもの）▽累積点数（交通違反や交通事故の点数が現在何点になっているか）▽運転記録（過去三年間の交通違反、交通事故および運転免許の行政処分の記録）▽運転免許経歴（過去に失効した運転免許など）の各証明書を発行します。

手数料は一件六百円、申し込みは事故証明と同じ。

❸免許停止直前の点数通知＝交通違反などの点数が運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった人に郵便で通知。

三校の卒業生

三月は卒業のシーズン。本町では五日の中学校卒業式についで十日に井関、十九日には阿知須小学校が卒業式を行います。

ことしの卒業生は三校とも男子に比べて女子が少ないという珍現象がみられます。

各校の卒業生数は次のとおり

	男	女	計
阿知須中	一〇九	五五	一六四
井関小	七二	四二	一一四
阿知須小	一九	一八	三七

海岸線は四十キロ速度制限
国道は五十キロ区間も

県公安委員会はこのほど、国道一九号線の役場前～旦北（県道交差点）間約五百メートルを自動車運転速度時速五十キロに。また町道の駅通り昭和橋～小古郷橋本商店間（川沿いより海岸線）は四十キロに制限しました。

商店街はすでに三十キロに制限されており、家の密集地域はスピードを落して走るようになっています。運転者は事故のないようスピードを落して走るよう心掛けましょう。

役場前に信号機

町役場前の国道と県道交差点に交通信号機が取付けられ二月二十七日から作動しています。

本町では駅前交差点についで二番目の信号機。工事費八百万円。

郵便の日曜配達は休止

阿知須郵便局は三月から郵便の日曜配達をとりやめました。またポストからの取集めも日曜日には阿知須補地区の五か所だけになりました。

郵便の日曜配達は労働条件改善のため全国的に休止の方向に進んでおり、中国郵政局管内ではすでに昨年三月までに、普通局全部と特定局三分の二が休止しています。阿知須局は最後まで取残されていたものです。

しかし、速達郵便と年末の十二月二十日から年始の一月五日までは日曜日も配達します。

また、ポストに投函された郵便物の取集めも日曜日には一回ずつ回数が減りました。したがって町内九つのうち平日二回のものが一回に、また一回のものは毎日おわしとなりました。

日曜日に取集められるポストは郵便局前（西条）駅前（浜）藤岡商店（浜）細田商店（細北）細吉タバコ店（鋳地）の五か所。

なお、阿知須局の集配員は現在五人。労働条件の改善が大きなねらいです。

妊産婦・乳児にミルクか牛乳を支給

県では母子の健康保持のため、所得税非課税世帯の妊産婦、乳児にミルクか牛乳を無料で支給します。届出がある人に対して毎月から支給されますので、妊娠していると判ったら、すぐ町厚生課へ届け出ましょう。印鑑がいります。

▽期間＝妊娠中六か月、出産後三か月間。乳児は生後四か月目から九か月まで

▽支給量＝希望によりミルクか牛乳のどちらか。

ミルクは一か月一キロ。牛乳は毎日一本（一八〇CC入り）

児童扶養手当の該当者は申請を

国では、父と生計をしない児童（義務教育終了前）の母もしくは母子世帯主が世帯員が定期乗車券を利用するときは三割引きになります。

この制度は従前から実施されていますが、あまり知られていないので、利用者が少ないといわれています。該当者は町厚生課で申請手続きをすると適用されます。

▽一人目＝中野泰司さん（埼玉県北葛飾郡吉川町吉川団地四の八の三〇一、東京都江戸川区平井三の十八の一平井共同、砂二出身）▽五千円＝大谷節子さん（防府市七天神町七の十五の三、元町保育園保母）

覚さん（親南）は拾ったお金を警察に届けていて、落し主が出ないので拾得者に返ってきたのをそのまま寄付。

◇（町へ）

▽二千円＝中野秀司さん（埼玉県北葛飾郡吉川町吉川団地四の八の三〇一、東京都江戸川区平井三の十八の一平井共同、砂二出身）▽五千円＝大谷節子さん（防府市七天神町七の十五の三、元町保育園保母）

お知らせ
海岸線は四十キロ速度制限

国道は五十キロ区間も

県公安委員会はこのほど、国道一九号線の役場前～旦北（県道交差点）間約五百メートルを自動車運転速度時速五十キロに。また町道の駅通り昭和橋～小古郷橋本商店間（川沿いより海岸線）は四十キロに制限しました。

商店街はすでに三十キロに制限されており、家の密集地域はスピードを落して走るようになっています。運転者は事故のないようスピードを落して走るよう心掛けましょう。

妊産婦・乳児にミルクか牛乳を支給

県では母子の健康保持のため、所得税非課税世帯の妊産婦、乳児にミルクか牛乳を無料で支給します。届出がある人に対して毎月から支給されますので、妊娠していると判ったら、すぐ町厚生課へ届け出ましょう。印鑑がいります。

▽期間＝妊娠中六か月、出産後三か月間。乳児は生後四か月目から九か月まで

▽支給量＝希望によりミルクか牛乳のどちらか。

ミルクは一か月一キロ。牛乳は毎日一本（一八〇CC入り）

児童扶養手当の該当者は申請を

国では、父と生計をしない児童（義務教育終了前）の母もしくは母子世帯主が世帯員が定期乗車券を利用するときは三割引きになります。

この制度は従前から実施されていますが、あまり知られていないので、利用者が少ないといわれています。該当者は町厚生課で申請手続きをすると適用されます。

◇（町へ）

▽二千円＝中野泰司さん（埼玉県北葛飾郡吉川町吉川団地四の八の三〇一、東京都江戸川区平井三の十八の一平井共同、砂二出身）▽五千円＝大谷節子さん（防府市七天神町七の十五の三、元町保育園保母

覚さん（親南）は拾ったお金を警察に届けていて、落し主が出ないので拾得者に返ってきたのをそのまま寄付。

善意はここに

〔社会福祉協議会〕

◇香典返し▽二万円＝松本栄雄さん（小西）は母キクノさんの、松永俊治さん（河内）は父明一さんの▽三万円＝山野修三郎さん（河内）は父茂雄さんの、▽三万円（内一万円は保護司会へ指定）＝上野俊亮さん（岩上）は母ナカさんの

▽一般寄付

▽五万円＝片山浩太郎さん（河内）▽二千円＝平野貞夫さん（親北）▽一万一千五百九十六円＝上野

3月のメモ

7日　第1回町民オリエンテーリング大会（前9時）
9日　育児相談（後1時半～3時）
11日　第2回定例町議会招集
　婦人学級（前9時半・10日の予定を変更）
15日　阿中卒業式
18日　井小卒業式
19日　阿小卒業式
〃　豚コレラの予防接種
20日　春分の日
21日　町内駅伝（前10時半・阿小出発）
26日　盆栽教室（後1時半）
〔時間のある催しは役場〕

春の防犯運動

春の防犯運動が三月いっぱい県下でくりひろげられています。

春は行楽シーズンをねらって空き巣など盗犯が多いのをはじめ、行楽地の暴力、花見酒による酒酔い運転、青少年の家出など多く起こることが予想されます。

このため、県警では活動の重点として①防犯②交通死亡事故防止③暴力犯防止④盗犯の予防と検挙⑤家出少年発見保護に努めることをあげています。

引野と沖ノ原道路の二つ
農村モデル事業の最初の工事業進む

町の農村総合整備計画（モデル事業）の最初の事業として、五十年度に道路・路線を整備することになっていますが、その工事がいま盛んに進められています。

一つは引野道路、明栄寺のすぐ前の道路の改良（幅員六メートル延長六六〇メートル＝工事費千四百万円）。もう一つは中学校後方の沖ノ原農道。これも改良するもので、幅員六・五メートル、延長三七七メートル　工事費は約一千万円。

沖ノ原線は二か年にまたがる継続事業です。

このモデル事業は当初、四年計画で終る予定でしたが、国の事情で現在のところ七年に延び、事業費は十億円を越える見込みです。

青い羽根は千六百本
緑化運動で本町に割当て

『どりもそろう　緑の風と青い空』の標語のもとに、ことしも三月は緑化運動が続けられています。

県緑化推進委員会が中心となって進めているもので、県下で四百万円を募金目標にし、それで花のタネを買ったり、植樹用の木を買ったりします。

本町には八ッチ（百円）三十個と青い羽根（十円以上）千六百本が割当てられ、婦人会を通してさばくことにしています。

事故証明は安全運転センターで
警察は取扱いやめる

自動車安全運転センター山口県事務所（山口市宮島町六の一・運転免許試験場内）が一月から開設されました。

交通事故証明書、その他自動車運転に関する証明や通知をこの事務所でまとめて行うことになったものです。したがってこれまで警察署で発行してきた交通事故証明は、今後警察では一切取扱わないことになりました。

安全運転センターが取扱う業務は次のとおりです。

❶交通事故証明書の発行＝手数料四百円、申請書は警察署、派出所、損害保険会社、農協などに備えつけてあります。郵便局から郵便局で申込むこともでき、その場合郵送されます。県外で起こした事故についてはその所轄のセンターに申込むことができます。

❷運転経歴証明書の発行＝▽無事故・無違反（四十四年十月一日以後のもの）▽累積点数（交通違反や交通事故の点数が現在何点になっているか）▽運転記録（過去三年間の交通違反、交通事故および運転免許の行政処分の記録）▽運転免許経歴（過去に失効した運転免許など）の各証明書を発行します。

手数料は一件六百円、申し込みは事故証明と同じ。

❸免許停止直前の点数通知＝交通違反などの点数が運転免許の停止処分を受ける直前の点数になった人に郵便で通知。

三校の卒業生

三月は卒業のシーズン。本町では五日の中学校卒業式についで十日に井関、十九日には阿知須小学校が卒業式を行います。

ことしの卒業生は三校とも男子に比べて女子が少ないという珍現象がみられます。

各校の卒業生数は次のとおり

	男	女	計
阿知須中	一〇九	五五	一六四
井関小	七二	四二	一一四
阿知須小	一九	一八	三七

郵便の日曜配達は休止

阿知須郵便局は三月から郵便の日曜配達をとりやめました。またポストからの取集めも日曜日には阿知須補地区の五か所だけになりました。

郵便の日曜配達は労働条件改善のため全国的に休止の方向に進んでおり、中国郵政局管内ではすでに昨年三月までに、普通局全部と特定局三分の二が休止しています。阿知須局は最後まで取残されていたものです。

しかし、速達郵便と年末の十二月二十日から年始の一月五日までは日曜日も配達します。

また、ポストに投函された郵便物の取集めも日曜日には一回ずつ回数が減りました。したがって町内九つのうち平日二回のものが一回に、また一回のものは毎日おわしとなりました。

日曜日に取集められるポストは郵便局前（西条）駅前（浜）藤岡商店（浜）細田商店（細北）細吉タバコ店（鋳地）の五か所。

なお、阿知須局の集配員は現在五人。労働条件の改善が大きなねらいです。

妊産婦・乳児にミルクか牛乳を支給

県では母子の健康保持のため、所得税非課税世帯の妊産婦、乳児にミルクか牛乳を無料で支給します。届出がある人に対して毎月から支給されますので、妊娠していると判ったら、すぐ町厚生課へ届け出ましょう。印鑑がいります。

▽期間＝妊娠中六か月、出産後三か月間。乳児は生後四か月目から九か月まで

▽支給量＝希望によりミルクか牛乳のどちらか。

ミルクは一か月一キロ。牛乳は毎日一本（一八〇CC入り）

児童扶養手当の該当者は申請を

国では、父と生計をしない児童（義務教育終了前）の母もしくは母子世帯主が世帯員が定期乗車券を利用するときは三割引きになります。

この制度は従前から実施されていますが、あまり知られていないので、利用者が少ないといわれています。該当者は町厚生課で申請手続きをすると適用されます。

母子世帯は国鉄定期を三割引き

国鉄定期乗車券の割引きは母子世帯にも適用されます。つまり、母子福祉年金が母子福祉年金、あるいは児童扶養手当を受けている世帯主が世帯員が定期乗車券を利用するときは三割引きになります。

この制度は従前から実施されていますが、あまり知られていないので、利用者が少ないといわれています。該当者は町厚生課で申請手続きをすると適用されます。

山口高校の通信制生募集

県立山口高等学校では「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる通信制課程の生徒を募集しています。

▽募集人員　普通科　三百名
　衛生看護科　百名

〔社会福祉協議会〕

◇香典返し▽二万円＝松本栄雄さん（小西）は母キクノさんの、松永俊治さん（河内）は父明一さんの▽三万円＝山野修三郎さん（河内）は父茂雄さんの、▽三万円（内一万円は保護司会へ指定）＝上野俊亮さん（岩上）は母ナカさんの

▽一般寄付

▽五万円＝片山浩太郎さん（河内）▽二千円＝平野貞夫さん（親北）▽一万一千五百九十六円＝上野

善意はここに

3月のメモ

7日　第1回町民オリエンテーリング大会（前9時）
9日　育児相談（後1時半～3時）
11日　第2回定例町議会招集
　婦人学級（前9時半・10日の予定を変更）
15日　阿中卒業式
18日　井小卒業式
19日　阿小卒業式
〃　豚コレラの予防接種
20日　春分の日
21日　町内駅伝（前10時半・阿小出発）
26日　盆栽教室（後1時半）
〔時間のある催しは役場〕

ほのぼのさん　どうぞ

気づいたら推薦を

あなたのまわりで、人の心をほのぼのとさせるような行いをしている人、あるいはそんな人はおられませんか、もしか、心当りがあれば推薦してください。

○

ささやかな行為でも結構です。

推薦はいつでもできます。個人、グループを問いません。推薦があった場合は審査会にかけて、この趣旨にふさわしい認められれば"ほのぼのさん"の称号と運動章をさしあげます。

○

事務局は町厚生課です。推薦書も同課に備えてあります。

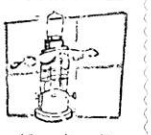
たばこは町内で

衛生看護科は准看護婦養成施設の生徒に限る

▽願書締切り　四月十五日

▽詳細は　山口市糸米一丁目・山口高等学校通信制へ。案内書は百円切手を添えて申込みのこと

町史編さん室だより



町ではいま、町史編さんを進めています。出版は来年をめざし、町内、町外から古文書、記録、その他の資料を集めて、その中から必要なものを選び抜き、記載するための作業に当っています。

現在までに相当の資料も集り、執筆の段階に入っていますが、今、号から、その作業、執筆等の途中の状況を連載します。みなさんの家で参考になる資料があれば今後とも教育員委会へご連絡いただくと幸せます。

古文書の整理進む

町史を編さんし、刊行するにあたっては、過去の阿知須を示す文書・記録が必要です。さいわい町内には江戸時代に正屋・畔頭を勤められた家が現存し、多くの文書・記録が保存されていました。藤田（引野）片山（河内）芥川（引野）中原（北祝）上野（岩上）小野（飛石）福田（砂三）徳田（門松）磯中（西冬）真重（中村）河崎（源河）工藤（寺河内）中川（縄北）家などから文書がよせられ一点一点整理を進めております。

また県文書館には江戸時代から明治・大正・現在に至る県の記録が保存され、この中にも阿知須に関する記録が多く含まれています新聞記事も阿知須を知るうえで重要な記録です。明治に発刊されたローカル新聞はその時々の出来ごとを知らせてくれます。

こうして文書・記録を整理していくうちに過去の阿知須が私たちの目の前に明らかになっていきます。牧ノ江開作の築立については福田家の文書がその様子を示してくれます。上野家の文書から土路石川、井関川の水利を示す絵図が見つかり、現在の水利状況とあまり相違のないことがわかりました。そのほか醤油・肥商い、奇兵隊に参加した人々の記録も中原家の文書の中にみられます。

◇　◇　◇

納税と申告間違いは修正も

所得税の申告は三月十五日で締切られます。賃金・給料だけの生活者は別として、この申告をした人の町県民税はこれを基にして算定されます。しかも、その課税率は法律で決められているので、本町だけ特別の率を使うことはありません。

住民税は隣接の宇部、山口市と同率です。しかし、均等割は宇部・山口市が一人四百円、これに比べて本町は一人二百円だから、これは半額安いわけです。

〝税金は会費〟

▽・「税金は会費だ」といわれています。町内会で出し合う公共労働組合に会員が出す会費、同じ趣味をもったもの同士が出し合う会費などと同じようなものだいうわけです。それはお互が出し合ったお金によりもっとよい生活をきめています。しかも、私的な団体はます自分たちがよくなるようにというのに対して、公共団体はもっと大きい考え方にたち、その地域の人全体がよくなるようにという目的をもっているのです。

▽・また、一般の企業、つまり会社と公共団体の事業を比べた場合、一般企業はます自分の会社の利益を考えます。そのためには損をしないように、利益は大きければ大きいほどよいとされています。

しかし、公共団体は法外な利益は許されません。また、例え、利純はなくても真に大衆の福祉増進に役立つことであれば採算を度外視して実施することもあります。公共団体の行うことは個人には直接、利益はないかもしれませんが、その地域が整備され、会社事業所の収益がふえればそれだけ従業員に関連する人たちもその恩恵が及ぶことになりましょう。

▽・西部に出てくる保安官、あれは、その地区に住む人たちがお金を出して設けた制度だといわれています。新天地を求めてアメリカ西部にたくさんの人が移住するようになると、無法者が跳梁、殺すなど暴れるようになりました。善良な人々の生活が脅やかされるので、自分たちの中から保安官を出し、治安維持につとめたというのです。現代の警察制度はこれと同じようなことがいえましょう。

▽・税負担額の多少は収入や利用の度合、その他法の定めによって異なります。所得の多い人は本人の努力もさることながら、それだけ他からの恩恵多く受けていることもあり、その分を社会に還元するという意味で税額が多くなります。現在、少ない人も将来所得がふえればそれに応じて納税義務を負います。それは助けたり助けられたりの相互扶助の精神に基すくものです。

申告後は納税ということになりますが、この趣旨をご理解のうえ国民としての義務を全うされますようお願いいたします。

女性も多い盆栽教室（上）
指導は親切…電気の勉強（下）

申告後、記入の金額に間違いがあることが判れば一年以内なら修正することもできます。この手続きについては税務署か町税務課へおたずねください。

勉強はこれから
大人の学級で学ぶ人々

各地で大人の勉強が盛んです。本町でも老人対象のもの、主婦を対象としたもの、あるいは若いおかあさんたち、健康管理をめざす講座などいろいろ開いています。

最近では・生涯教育・ということばがよく使われ、人は生まれてから死ぬまで勉強しよう、その内容は教養の向上をはかるだけでなく、趣味のものでも結構、職業に通じるものでも結構というのがねらいです。

本町の各学級・講座で学ぶ人々を定着し「これからが本当の勉強」です」と張切っている老人も見受けられます。ここにとりあげるのはそのうちの二つ。

ご老人は盆栽

◇・「このぐらいじゃどねえじゃろうかい」「切りすぎたかノ」とはがよく使われ、人は生まれてから死ぬまで勉強しよう、その内…と盆栽講座の受講者は熱心すかしたりの実習ぶり。二月から五月ぐらいまでは盆栽にとっては大事な時期だけに勉強する人も熱心に教室を開いていますが、最近は受講者もふえ、毎回二十人ぐらいが受講しています。講師は芥川貞一さん（引野）。実際に鉢もものを使っての講義とあって判りやすく、受講者にはなかなかの好評。

主婦は電気を

◇・主婦も電気の知識に強くならなくては…と二月の婦人学級は電気器具の取扱いの勉強でした。中国電力山口営業所の職員の講義のあと電気のコードのつなぎ方、とりはずし方など初歩的な実習。それでも、電器部品を取扱うのは初めてという人もあって、やさしい手ほどきに「こんな簡単なことならこれからは主人に頼まなくてもできますね」と勉強した喜びを語る人もありました。

柔道は辻野、剣道は吉武選手が優勝

町内柔剣道大会

第四回柔剣道大会は二月二十二日阿知須小学校で開かれ、柔剣道（二級以上）に分れ、盤上で静かな熱戦が展開されました。

この結果Aブロックで池田通明さん（砂二）、Bブロックで大田時男さん（砂三）が優勝、両者とも参加、個人優勝の辻野純夫選手は高校三年、身長一八一センチ、体重七五キロという巨漢、警視庁に就職が決っている。剣道個人優勝の吉武伸彦選手は大学一年で体格は一八〇センチを越え、頭上からの面打ちが他を圧していました。

成績はつぎのとおり

▽地区対抗戦

剣道　①小古郷②引野③東条

柔道　①東条②寺浜③岩倉

▽個人戦（一般）

剣道　①吉武伸彦（引野）

②浜見茂樹（春地）

③中元茂盛（仙在）

柔道　①辻野純夫（岡）

②亜野貞夫（鯉田）

③荷栄一（前山）

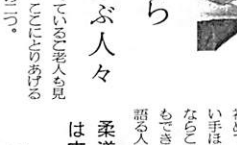
写真は個人優勝の柔道・辻野（右）剣道・吉武選手

中学生も初参加

町内囲碁大会

町内の囲碁愛好者を集めて、第二十二回町内囲碁大会が二月八日町役場で開かれました。

今大会には初参加の鎌田清治、塩谷真一郎君（東区）ら中学一年生二人を含む二十六人が参加、Aブロック（一級以上）Bブロック（二級以上）に分れ、盤上で静かに接戦を繰えし宇部女子高校生名が二月五日から二十四日まで、本町役場で教育実習をしました。すでに、官公庁以外のどこかに就職が決っているのばかりですが、役所の内容を知っておけば、将来、きっと役立つだろうと受入れ側も気を配るところが多々ありました。本町としては初めての受入れとて、彼女らにどう受けとられたかよく判りませんでしたが、反省会のとき「楽しかった」「電話の応待の仕方が勉強になった」などの声もあり町としても無事故で送り出したとホッとしているところです。



◆卒業を目前に控えて宇部女子高校生名が二月五日から二十四日まで、本町役場で教育実習をしました。すでに、官公庁以外のどこかに就職が決っているのばかりですが、役所の内容を知っておけば、将来、きっと役立つだろうと受入れ側も気を配るところが多々ありました。本町としては初めての受入れとて、彼女らにどう受けとられたかよく判りませんでしたが、反省会のとき「楽しかった」「電話の応待の仕方が勉強になった」などの声もあり町としても無事故で送り出したとホッとしているところです。

わが町わがふるさと

子どもの故郷に

古田　敏武

○―松江刑務所長を定年退官したのが四十八年三月です。家はその三か月前にできあがりました。すぐここに（岩倉駅の東南約二百メートル）住むようになりましたが裏の湖が庭園の池のように見えるのでなかなか風流です。これは二、三軒でしたが、今では十軒ぐらいにふえました。

○―環境はよいところですね。しかし、店が近くにないのが不便です。防府警察署にいる息子、宇部短大の事務員をしている娘などの便を借りますし、町に出たときまとめて買ってきます。もう一つは法務省本庁、広島、高松、静岡名古屋、尾道、松江などと転々しましたが、だから、故郷らしいものがなく子どもたちも故郷がほしいというし、余生は静かなところがよかろうと思って田舎を選んだわけです。

○―阿知須にしたのは家内の姉が岐波の出身だから、その近くを通ってよかったと思っています。

○―生まれは大分県三重町です別府の近くです。四十年くらい前に故郷を出たので今はよく知りません。定年まで法務省に三十五～六年勤めました。その軍隊二年や上海刑務所など外地に勤務、戦後は法務省本庁、広島、高松、静岡名古屋、尾道、松江などと転々しましたが、だから、故郷らしいものがなく子どもたちも故郷がほしいというし、余生は静かなところがよかろうと思って田舎を選んだわけです。

○―阿知須にしたのは家内の姉が岐波の出身だから、その近くを通ってよかったと思っています。

○―生まれは大分県三重町です別府の近くです。四十年くらい前に故郷を出たので今はよく知りません。定年まで法務省に三十五～六年勤めました。その軍隊二年や上海刑務所など外地に勤務、戦後は法務省本庁、広島、高松、静岡名古屋、尾道、松江などと転々しました。